

ミンダナオの風

発行：ミンダナオ子ども図書館 編集：松居友

2021年12月：85号



ミンダナオは、相変わらずコロナの影響で、MCLの子どもたちも、対面授業に出られずに、オンラインも活用して授業をしています。ネット環境もよくないので苦労しているようです。また今後の活動の一つとして、西村奈々子さんによるMCLの子ども達と日本の支援者、家族や若者達とのZOOMを使った歓談や、講演なども考慮して、ミンダナオパラポラアンテナの設置を考えています！

日本に滞在して5年、二人の娘も公立の中学を卒業し、長女は、小児科医を目指してサンペドロ病院付属高校に、次女も、日系人会の高校にも取りましたし、

妻も、フリーランス特定非営利法人MCLの代表になるには、大卒の資格がなければならぬ、という政府の規定で、大学の社会福祉士学科に入り直して、がんばっています。しかし帰省がままならず、授業は東京で朝から晩までオンラインで受けています……！

妻と私が本部と数年距離を置いたことも、結果的に良く、宮木梓さんを中心に、現地スタッフもしっかり自立！ただし、子どもたちは大きくなって我が子のように「早く、ママエープリルとパットも、帰ってきてー」

一方で日本滞在中に、最も気になったのは、日本における子育ての辛さと、青少年の生きづらさ！しかし、若い世代には期待が持てそうなので、帰省前の日本滞在中に、奈々子さんが中心になって、日本の家族や若者たちとも可能な限り、講演やZOOMなどでつながりを持って、帰省後、MCLに支援者の方や家族や若者たちを、無償で受け入れる事にいたしました。ただし、福祉局と話し合った結果、コロナ危機が続く限りは、海外からの訪問者の施設内受け入れは難しいとの事！

来年度の不安定な政治や国際情勢も考慮して、まずは、講演やZOOMによる日本での交流から始めて、訪問者受け入れは、2023年以後になりそうです。

若い世代の感性が見たミンダナオと日本

2019年夏と2020年春に
MCLに滞在しました

岸本鮎乃



病みかちな日本人の私とMCLの子供達
初めてフィリピンを訪れたのは、
2016年の夏で、空港から出たときに
感じた、甘い果物が腐ったような、で
も少し懐かしいような異国のおい
ドキドキしたのを思い出す。

昔から、今自分がいる世界とは、違
う場所に憧れていた。別に厳しい環境
にいたわけではなかったが、最もよい
状態でいなければならないと勘違いを
し、人からどう見られているかを過度
に気にしていた私にとって、ルールが
たくさんあって、多感な同世代がたく

さんいる学校はストレスを感じる場所
だった。だから、現実逃避が私の日常
生活の一部として存在し、遠い異国の
地の人達と交流する自分を思い描い
た。

痛みや苦しさ、矛盾した物事の気持
ち悪さに敏感な性分だから、途上国と
言われる貧しい国の人達の様子を見た
とき、心を動かされた。海外青年協力
隊とか、現地の人を救うヒーローみた
いでかっこいいなと、異国の地への好
奇心と承認欲求から、国際協力みたい
なものに興味を持つようになった。自
信のなさから、やっぱり国際協力なんて
できないかなと思いつつも、やっぱ
り一番興味があることだからか、大学
3年目の今もなんだかんだ国際協力・
援助みたいなものに関わっている。

しかし、国際協力ってなんなの？意
味あるの？人助けられるの？という疑
問はいつも付きまとう。実際、ミンダ
ナオ子ども図書館(MCL)に行ったら
時も、私が与えたものより、与えられ
たものの方が何倍も大きかった。

紛争が起こるような地域で、親がい
ない、貧困で一緒に住めない子供たち
と一緒に暮らして学校に行く施設と聞
いて、小学校の校区にあった、児童養
護施設の子供達を思い出していた。少
し気のつよい子や勉強が苦手な子、心

に問題を持つような子が多かった気が
する。MCLでもそんな子供が多いの
かなと少し緊張しながら向かった。で
も、予想とは違ってみんなとても楽し
そうで幸せそうだった。

日本からきた来客ということもあつ
ても、もてなしの気持ちもあつたかもし
れないが、友達がいらない子や、いじめ
みたいなものなんて全くなかった。私
たちに積極的に話しかけてくれて、い
ろんなことを教えてくれたり、お菓子
をくれたり、一緒にダンスを踊ったり、
高校生以上の子もシャイな子もいたけ
れど、みんなMCLにいるのが楽しい
というのが、伝わってきたし、私自身
も子供達と過ごす時間はとても楽しく
て充実したものだ。

「家族と一緒に暮らせていないけど、
ここではみんなが家族だから寂しくな
いよ。」「大丈夫？元氣？」「あなたは
とっても美しいね。」「アテ（お姉ちゃ
ん）！一緒に座ろう。」「私が手伝って
あげる。」「もつと食べて！」みんなが
かけてくれた言葉は愛にあふれてい
て、「ああ、だからみんなこんなに幸
せそうなんだな、」と思った。

MCLの子供達は、働き者で、まだ
日が昇る前から、ご飯の支度をして、
身体を洗って、学校に行き、帰ってき
たら洗濯物を自分で洗って干して、遊



んで、掃除やご飯の手伝いをして、
私はそんなみんなの様子をただぼーっ
と眺めているだけだった。
私が初めてMCLを訪れたときは、
子供達の栄養改善プロジェクトをする
という目的で、日本の大学生と訪れた
が、大半を座ってスマホを見つめて、
お菓子をやけ食いする私なんかより、
よっぽど健康的だった。確かに、食材
のバラエティーには欠けるかもしれない
が、ご飯をしっかりと食べて、しっか
り運動して、たくさんの友達に囲まれ
た彼らより、一人で鬱々と考え込んで、
家にこもる私の方が生活を改善するべ
きだろう。
ここまで書くと、MCLの子供達は
幸せいっぱい、楽しかったです！と
いった感想で終わってしまうけれど、辛
い側面ももちろんある。

医療や読み聞かせ等の活動全般にかかる経費と子供たちの生活費を支援・・・自由寄付

寄付をくださった方には隔月に機関誌『ミンダナオの風』をお届けいたします。

2

(銀行振込、ネットバンキングも可能です) ■銀行名 ゆうちよ銀行 ■金融機関コード 9900
■店番019 ■預金種目 当座 ■店名 ○一九店(ゼロイチキユウ店) ■口座番号 0018057

サイトからクレジットカードによる単発と各月自動寄付が可能になりました!

詳しくはウェブサイト「ミンダナオ子ども図書館日記」をクリック!

若い世代の感性が見たミンダナオと日本

クワシンの話

“Do you have a crush?” 子供達に聞かれたとき、crushの意味が分からなくて、どういう意味?と聞くこと、クスクス笑いながら、好きな人のことはだよと教えてくれた。やはり恋愛の話は、世界共通のようだ。一緒にMCLに滞在した大学生同士でも恋バナをしていて、自己肯定感の低さから、恋愛とは無縁の青春時代を送っていた私にとって、そういった恋愛の話はなんだか新鮮だった。今まで滞在していた日本人の学生たちは女の子たちの間で人気のように、私は○○派!と話しては、盛り上がり過ぎていた。中には、私は女の子が好きだからと話す女の子もいて、様々なジェンダーに多様な環境だから、みんなのびのび暮らせるんだなど感動したことを覚えている。

子供達と恋愛の話をするときに、MCLに来る前に読んだ注意事項に、奨学生との恋愛禁止と書かれていたことを思い出した。日本人を好きになって、フィリピンを出たけれど、稼ぐ方法がないといった状態になってしまった人がいるとスタッフの人が言っていた。ただ思うだけの恋の先には、セックスがあっても、その結果子供を産んで結婚することもあある。恋をするとは言えないけど、子供を産んでしまったら、

学校に行き、好きな仕事で働くのが、一層難しくなるのは事実だろう。

MCLを訪ねて

フィリピンに行くと、MCLに行つてよかったなと何度も思う。国際協力なんて大げさなことをしたなんて思わないけど、たくさんの子供達とフィリピンの人達と話して、彼らが私の狭い世界を少し広げてくれた。広くて自分とは無縁な世界は、自分が少し足を踏み入れることで、少しずつ自分の一部になる。そうやって世界中の人やものが自分の一部になれば、友達を思うようにに世界のことを考えるようになるかもしれない。そうなれば、いいなと思う。



Marvin T. Adlaon (マルビン)

(2001年7月24日生まれ)

20歳 ビザヤ族

マラシラ高等学校6年生(6年制)

こんにちは! 私はマルヴィン。MCLのあるキダパワンの隣の町、マキララに住んでいます。

2019年10月の震災で被災し、バランガイ・マラシラの避難所でテント生活をしていた2020年の3月、読み聞かせや炊き出しに来てくれたMCLと出会って、奨学生になりました。

私の家は、マキララを通るハイウェイから山道を登った、バラワンという集落にありましたが、震災で半壊してしまいました。また、牧師をしていた父の働く、フィリピン・エコノミカル・クリスチャン・チャーチの教会も、壊れてしまいました。

地震で家や教会は壊れてしまいましたが、両親も兄弟も無事でした。でも、家と教会を失った父は、ひどく落ち込んでしまい、自殺を選んでしまいました。その時、母は妊娠中で、避難所で途方に暮れているときに、MCLに出会ったのです。

現在は、赤ちゃんも無事に産まれ、

母も少し元気になりました。半壊した家の修理も始め、避難所を出て、家族でバラワンの家に戻りました。2020年3月から、コロナウイルスの流行で、学校に登校することはできませんが、学校で出された課題を家で勉強しています。

父がいなくなり、生活は苦しいですが、長女と次女の姉2人が、デイゴスという町に働きに出て、私たちの生活を助けてくれます。私もしっかり勉強したいです。将来、私はエンジニアになるという夢があります。そして、母を少しでも助けられたら、と思っています。

震災後、父を亡くし、とても辛かったです。赤ちゃんも産まれたし、自分たちの家に帰ることができたので、希望を失わずに勉強を続けたいと思います。



ミンダナオ子ども図書館のスカラシップは、成績よいも孤児や片親、母子家庭の子、親がいても学校にいけない子を採用基準とし、大学まで通えます。その中の特に何らかの事情で保護を必要としている子は本部に住み、生活を保障。学費の他に、医療費、制服、学用品、小遣い、寮下宿代、生活費等が入っています。最終ページの「ミンダナオ子ども図書館支援方法」を参照!

Mindanao Children's Library Foundation, Inc.



貧しいからといって、必ずしも不幸とは限らない
私たちの生活の方が、豊かな国の人々の生活よりも
はるかに美しいと感じるときだってある。
けれども、どうにもならないのが、たべられないときと、
お金が無くて学校に行けないとき、病気になっても治せないとき・・・



ミンダナオ子ども図書館支援方法

1、自由寄付医療や読み聞かせ等の活動全般にかかる経費と子供たちの生活費を支援

直接下記の振替口座をお願いします。寄付をくださった方には隔月に機関誌『ミンダナオの風』と時には機関紙に代わってMCLで企画した絵本をお届けいたします。

自由寄付は、貧困集落に住んでいる子供たちの薬から手術に至るまでの医療費。まだ支援者が見つかっていないにも関わらず、放っておかず採用している100名ほどの奨学生達の学費。保護を必要として、MCL本部や下宿小屋に住み込んで学校に行かせている200名ほどの奨学生の生活費。ガソリン代を含む活動全般の諸経費に充てています。

機関誌を楽しみにしている方の場合、わずかな寄付でもお送りします。

他の方々に紹介していただければ幸いです。不要の方は、宮木梓か前田容子までご一報ください。

2、植林農業環境支援・・・6万円(ヤシ、ゴム、カカオ植林等、現地作業代こみ)

洪水対策と先住民族が土地を手放さないようにするための、経済自立支援です。

3、保育所建設支援・・・半セメントと竹壁90万円 総セメント130万円

(福祉局の要望によりスタンダードにしました)

開所式の参加や訪問も可能です。毎年チェックし修理をしていきます。

スカラシップ支援(現在約300名)

ミンダナオ子ども図書館のスカラシップは、成績よりも孤児や片親、母子家庭や崩壊家庭の子、親がいても兄弟が多く学校にいけない子を採用の基準とし大学まで通えます。特に何らかの事情で保護を必要としている子や大学生は、本部や下宿に住み生活を保障(現在約200名)。支援には学費の他に、医療費、制服、学用品、小遣い、下宿代、生活費等が入っています。

1、大学生スカラシップ支援・・・年額72000円(月額6000円)

2、高校生スカラシップ支援(日本の中高生)・・・年額60000円(月額5000円)

3、里子支援(小学生)・・・年額42000円(月額3500円)

奨学金は物価高騰もあり、2020年より小学校と大学のみ2000円加えた額に変更しました。

継続支援の方で変更を希望されない方は、以前の額で結構です!

振り込み用紙の通信欄に「大学」または「高校」「里子」等の希望を書いて振り込んでいただければ、現地スタッフの宮木梓よりお便りします。その後、機関誌に同封して、スナップ写真と成績表(各年)、高校・大学生の場合は本人からの手紙(英語)、12月には自分で描いたクリスマスカードが届きます。プレゼントや文通も可能です。日本語の手紙は、現地で翻訳して当人に渡しています。返事は英語ですが、里子の場合は、字を読んだり書けない子も多く絵手紙での返事です。プレゼントも届けます。

事前の紹介や希望、訪問などのご相談は、メールで現地スタッフの宮木梓(あずさ)さんか、

FAXで日本事務局の前田容子さんに!訪問の際は、ダバオ空港にお迎えに行き、

MCLに宿泊していただき、奨学生の自宅にもご案内します。宿泊費はとりません。

メール mclmindanao@gmail.com 現地日本人スタッフ: 宮木梓(あずさ)

FAX: 0743 74 6465 日本事務局 前田容子

ゆうちょ振り込み口座 00100-0-18057: 加入者名 『ミンダナオ子ども図書館』

(銀行振込、ネットバンキングも可能です) ■銀行名 ゆうちょ銀行 ■金融機関コード 9900

■店番 019 ■預金種目 当座 ■店名 ○一九店(ゼロイチキユウ店)

■口座番号 0018057

サイトからクレジットカードによる
単発と各月自動寄付が可能になりました!
有名な決済会社のサイトなので、個人情報流出することはありません!

詳しくはウェブサイト

「ミンダナオ子ども図書館:日記」をクリック!

現地住所: Mindanao Children's Library Foundation, Inc.
Brgy. Manongol Kidapawan City North Cotabato 9400 Philippines